

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	酢酸亜鉛・二水和物 (Zinc diacetate, dihydrate)
会社名	細井化学工業株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町3-1-8
電話番号	03-3270-3601
緊急時の電話番号	03-3270-3601
FAX番号	03-3279-5863
整理番号	ZN-4020

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物質又は混合物の分類  
急性毒性(経口)

区分4-(H 302)

#### GHSラベル要素



注意喚起語  
危険有害性情報  
注意書き

警告  
H 302 - 飲み込むと有害

#### 【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。  
直ちに医師の手当てを受けること。

#### 【保管】

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手  
直射日光を避け乾燥した湿気の無い場所に保管すること。

#### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処  
理業者に業務委託すること。

#### その他

他の有害性情報

情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品。
化学名又	酢酸亜鉛・二水和物
含有量	99.0%以上
化学式	$Zn(CH_3COO)_2 \cdot 2H_2O$
CAS番号	5970-45-6
MW	219.498
官報公示	(2)-693

#### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動し安静保温に努め、医師の手当て、診受けること。
皮膚に付着した場合	すぐに石鹼と大量の水で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識の無い場合は何も与えない。 直ちに医師の手当てを受けること。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 使ってはならない消火剤 特有の消火方法 火災時の特有危険有害性 消火を行う者の保護	水噴霧、泡消化剤、粉末消化剤、炭酸ガス、乾燥砂類 データなし データなし 熱分解は、刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することが 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 消防士は、自給式呼吸器及び消火装備を着用する必要がある。
---	--

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項 回収・中和 封じ込め及び浄化方法・機材 二次災害の防止策	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理す危険でなければ漏れを止める。 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関へ通報する。 すべての発火源を速やかに取り除く(喫煙、火花、火炎の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け乾燥した湿気の無い場所に保管すること。 容器を密閉して冷乾所にて保存すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料 混触禁止物質	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど。 強酸化剤。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会(2007年版)	未設定
ACGIH(2007年版)	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具(防塵マスク)を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)。
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣を着用すること。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	
性状	結晶性粉末
色	白色
臭い	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	273°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
比重・密度	1.84
溶解度	
溶媒に対する溶解性	水に可溶(40g/100ml水、25°C)。アルコールに可溶。 n-オクタノール/水分配係数log Po/w : データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	
安定性	推奨保管条件下で安定。空気中で風解性がある。
反応性	データなし。
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	日光、高温。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、亜鉛酸化物。
混触危険物質	強酸化剤。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口 ラットに対する経口投与のLD50=794 mg/kg (EHC 221(2001))  
に基づいて、区分4とした。

経皮 データなし  
吸入 吸入(ガス): GHSの定義による固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。

吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): データなし

### 皮膚腐食性・刺激性

EHC 221(2001)の記述「20%酢酸亜鉛水溶液は軽度な皮膚刺激性 (slightly less irritant) を示した。」から、4時間適用試験ではないが、酢酸亜鉛は軽度刺激性を有すると考えられ、区分3とした。

### 眼に対する重篤な損傷・刺激性

RTECS(1995)の記述から、中等度の眼刺激性を有すると考えられるが、詳細が不明であるので、「分類できない」とした。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: データなし

### 生殖細胞変異原性

データなし

### 発がん性

データなし

### 生殖毒性

データなし

### 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)

データなし

### 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)

データなし

### 吸引性呼吸器有害性

データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

データなし。

### 水生環境有害性 (急性)

データがなく分類できない。

### 水生環境有害性 (慢性)

データがなく分類できない。

### 残留性/分解性

データがなく分類できない。

### 生体蓄積性

データがなく分類できない。

### 土壌中の移動性

データがなく分類できない。

### オゾン層への有害性

データがなく分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制		
海上規制情報		該当しない
航空規制情報		該当しない
UNNo.		該当しない
国内規制		
陸上規制情報		該当しない
海上規制情報		該当しない
航空規制情報		該当しない
特別安全対策		データなし。

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1) (政令番号:1-1)
消防法	消防活動阻害物質 政令第1条の10「届出を要する物質」
毒物及び劇物取締法	劇物 包装等級3
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法(危規則)	非該当
航空法	非該当
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
水質汚濁法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)。
大気汚染防止法	有害大気汚染物質。

## 16. その他の情報

参考文献	各データ毎に記載した。
------	-------------

本データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保する為の参考情報として取扱う事業者  
に提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じ  
た適切な処理を講ずることが必要であることを理解した上で活用されるようお願いいたします。  
従って本データシートそのものは安全の保証書ではありません。

## 改訂の記録

作成	1995年 7月 7日
改訂	1996年 9月11日
改訂	1999年 7月 1日
改訂	2000年 4月 1日
改訂	2009年 4月 1日
改訂	2010年 2月 9日
改訂	2012年 6月13日
改訂	2021年 4月20日